



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成27年11月30日

地方で躍進する中小企業等を視察

国内経済視察会

組合では、県外の経済状況やまちづくり等を視察する国内経済視察会を10月29日から31日までの3日間行った。香川県を訪れた今回の視察会には、西理事長を団長に16名が参加した。

1日目に訪れたのは徳武産業(株)。同社は、香川県さぬき市に本社を構えるリハビリ・介護用シューズの製造・販売を行う従業員60名程の中小企業。香川県から全国の高齢者

に介護用シューズを届け、同分野でトップシェアを誇る。同社は、左右別々サイズや片足だけの販売等、靴業界の常識を覆し、顧客のニーズをとらえた商品開発を行っている。購入者には社員が手書きで真心はがきを送付し、顧客との双方向コミュニケーションを展開。ユーザーからは年間千通以上のお礼状が届き、日本で一番「ありがたう」の声が届く靴メーカーである。

また、社員全員参加で経営計画を策定し、理念の共有と自律的な社員育成により業績を伸ばしている。

次に訪れた高松丸亀町商店街は、香川県の県庁所在地である高松市の中心商業地で全長約470m、420年の歴史をもつ商店街である。

同商店街は「まちづくり会社」を設立して地権者と定期借地権契約を結び、土地の有と利用を分離。まち全体を白紙にして再開発するというこれまでの概念を打破する手法で商店街の大改造に成功。再開発にあたって国・県・市

から多額の補助金が投下されたが、商店街の活性化による法人税や固定資産税等の増徴で還元。投下された補助金に対する利回りは年6%にもなり、大手資本と違い地元のお金がまた地元に戻る流れが形成されている。

2日目には、香川県高松市の経営コンサルタント会社である(有)アトムビジネスコンサルタント代表取締役の香川雅俊氏を講師に招き、「なぜ香川県に上場会社が多いのか」をテーマに講演会を行った。

香川氏は「香川県は全国一小さい県ではあるが、ニッチな市場で日本はもとより世界でもトップシェアを誇る企業が多く、県経済の牽引役となっている」と説明した。



徳武産業前で十回会長を囲んで記念撮影(国内経済視察会)

大人も子供も大盛り上がり

第3回問屋町ハロウィンパーティー

今回で3度目の開催となる問屋町ハロウィンパーティーが、10月23日(金)午後7時からホテル青森で開催された。当日は思い思いの衣装をした組合員企業の従業員やその家族ら189名が参加した。

同パーティーのメインイベントである仮装コンテストには、大人の部に8組11名、子供の部には13組14名がエントリー。会場内をパレードした後ステージ上で自己アピールをし、会場を大いに盛り上げた。子供の部で優勝したのは山下結衣ちゃん(4歳)と澄人くん(2歳)の兄弟ペア。本人達の手作り衣装で観客の心をつかんだ。

その後行われた抽選会も大人の部と子供の部を分けて実施。今回も組合員企業からたくさんの協賛品の提供があり、多くの賞品が準備された。司会者が抽選番号を読み上げる



仮装コンテスト参加者



思い思いの衣装でパーティーを楽しむ

平成27年度 受講生募集中!



地域中小企業の人づくりをめざして 問屋町ビジネススクール

就業規則の改定など承認 第5回理事会

マイナナーバ法施行に伴う就業規則の改定等を審議する第5回理事会が10月26日(月)、問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは組合員の脱退及び新規組合員の加入や、盛況のうちに終了した第3回問屋町ハロウィンパーティーについて報告を行った。

主な案件審議は次のとおり
案件一 就業規則の一部改定について
案件二 つなぎ資金の借換に

健康づくりの第一歩 集団健康診断

今年度最後となる第3回集団健康診断が10月6日から9日の4日間、問屋町会館2階大会議室で行われ、計399名が受診した。

組合では昨年度より短命県返上に向け健康事業に力を入れており、健康診断も実施団体の協力により組合員のほか近隣企業にも呼びかけ、今年度は3回開催し、合計で660名の受診となった。

組合では今後も、健康寿命向上に向け、受診者の増加を目指すべく健康診断内容の充実を図る。

について
案件三 組合員の施設建築について
案件四 平成27年度第6回理事会の日程等について

理事会終了後には、青森卸センター(株)の第2回取締役会及び青森問屋町配送(株)の臨時総会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

問屋町内の交通事故撲滅を目指して

組合及び青森交通安全協会問屋町支部では、問屋町及び周辺道路の交通事故対策を協議するための問屋町交通安全診断を11月5日(木)に実施した。



健康診断

団地内景観美化推進

10月18日(日)、問屋町緑のボランティア隊による団地内の美化活動が行われた。

今年度最後となる同活動には隊員とその家族23名が参加し、第二問屋町の街路樹下枝



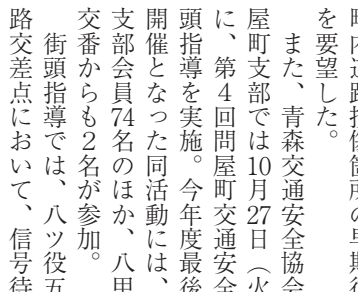
問屋町緑のボランティア隊



ユアテックによる清掃活動



交通診断



街頭指導

の刈払いや、街路樹木の除草作業を行った。
今年度の緑のボランティアの活動は7月から10月まで計4回行われ、延べ107名が参加し団地内の美化緑化に汗を流した。
また、10月1日(木)には

当日は、関係機関から青森警察署、国土交通省青森河川国道事務所、東青地域県民局地域整備部、青森市都市整備部道路維持課及び道路建設課の担当者が出席。青森交通安全協会問屋町支部からは26名の会員が参加した。
診断では、問屋町内で交通事故の発生が予想される箇所等をバスで移動しながら視察。その後、問屋町会館に場所を移し、事故防止策などの意見交換を行ったほか、問屋町内道路路損傷箇所の早期復旧を要望した。

また、青森交通安全協会問屋町支部では10月27日(火)に、第4回問屋町交通安全街頭指導を実施。今年度最後の開催となった同活動には、同支部会員74名のほか、八甲田交番からも2名が参加。
街頭指導では、八ツ役五又路交差点において、信号待ち

事務局の役割について など学ぶ

東北卸商業団地連絡協議会の事務局女子職員研修会が10月23日(金)、(協)横浜マーチャンダイジングセンターで開催され、東北各県の卸団地から8名の事務局女性職員が参加した。

研修会では、全国卸商業団地協同組合連合会の神戸副会長が講師を務め、団地組合における事務局の役割についての講義が行われた。また、会場となった横浜マーチャンダイジングセンターの手塚専務理事が同組合の現況についても説明した。

住宅設備機器・冷暖房機器
住宅関連商品総合卸商社

株式会社 金辰商事

本社 青森市第二問屋町3-3-13 TEL 729-3111
支店 仙台 営業所 弘前・盛岡・八戸

フードビジネスの明日を切り開く

食品総合商社



昭産商事 青森支店

青森市問屋町2丁目15-9
電話 (017) 738-4551

青友会・同友会 合同ゴルフコンペを開催

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)・青森問屋町経営同友会(同友会)の第14回合同ゴルフコンペが10月3日(土)、青森カントリー倶楽部で開催された。

今回は青友会・同友会会員とオプザバーを合わせ、過去最多となる28名が参加。不安定な天候のもとではあったが、参加者は一喜一憂しながらラウンドを楽しんだ。

優勝は太子食品工業(株)の櫻木マネージャーが初戴冠。ベストグロス賞は(株)きものセンタリーの足立会長が獲得した。

業務報告

…主要事項…

- 10月
 - 3日▽第14回青友会・同友会合同ゴルフコンペ
 - 6日▽第3回問屋町健康診断
 - ▽第2回献血
 - ▽第3回問屋町従業員モニター会議
 - ▽第3回街頭指導
 - 7日▽安協問屋町支部第2回役員会
 - 8日▽第7回問屋町合同清掃
 - ▽東北・関東甲信越卸商業団地連絡協議会交流会
 - 13日▽県中央会青森県大会・創立60周年記念式典
 - 15日▽金融審査会
 - ▽津軽海峡ブランド博開
- 16日▽市高度化連絡協議会先進地視察調査
- 18日▽第4回緑のボランティア隊
- 22日▽青森県企業等診断
- 23日▽第3回問屋町ハロウィンパーティー
- 26日▽第5回理事会
- ▽青森卸センター(株)第2回取締役会
- 27日▽年度臨時株主総会
- ▽北日本流通ヴァン(株)第3回取締役会
- ▽青森県流通団地連絡協議会第29回通常総会
- ▽第4回街頭指導
- 29日▽あおもりコンピュータ・カレッジ運営委員会
- ▽国内経済視察会
- ▽インフルエンザ集団予防接種
- 1日▽ビジネスセミナー研修(ビジネス文書編)
- 7日▽商業簿記3級取得講座⑥(総務管理の基礎の基礎(契約・ハンコ編))
- 8日▽商業簿記3級取得講座⑦(契約・ハンコ編)
- 14日▽商業簿記3級取得講座⑧
- 20日▽仕事のタンドリの基礎の基礎①
- 22日▽商業簿記3級取得講座⑧
- 28日▽商業簿記3級取得講座⑨

経済雑感

第七十四回

青森総合卸センター
理事長 西 秀記

前号に引き続き、当組合の西理事長による経済雑感をお送りする。

「青森市のまちづくり」(4回目)

先ごろ新国立競技場の設計を巡って大論争が巻き起こった。デザインコンクールで最優秀賞に決定したザハ・ハディド氏の設計案に対して、日本を代表する建築家である横文彦氏が異議を唱えたことに端を発する。横氏は約30年前に、国立競技場に隣接する東京体育館を設計した経験から、この地区の特色、歴史、景観等に関して詳しく、ザハ氏の設計案では巨大すぎるということを感じた。そもそもこの地区は風致地区に指

定されており、その地区の自然美を維持保存するために、建設物の建築や樹木の伐採等に制限がある地区である。

東京体育館は、その制限によって既存の街並みに圧迫感を与えられ周辺と調和した結果、この地区は人々の憩いの場にもなっている

のだが、ザハ氏案はそれらが十分に考慮されていないように思われる。しかし、このことはザハ氏案に問題があるのではなく、設計の前提となる設計コンペ要項(プログラム)に問題があったと言わざるを得ない。



青森総合卸センター
理事長 西 秀記氏

結果的には、金額が膨らみ過ぎたことが直接の理由となつて計画が白紙化となつたが、横文彦氏と大野秀敏氏の

編著による「新国立競技場、何が問題か」には今回のプロジェクトにおいての問題点を明確にしており、その中で「問題のある公共施設計画」は決して新国立競技場に限りません。形を変えてどこでも何度でも起こりうる「こと」と言っており、その問題点とは次の四点であるとしている。①場所の景観と歴史性②公共施設の適切さ③公共施設整備の情報開示

④専門家の役割。今回のプログラムは、これらが不十分だったがために、景観、歴史、機能などを複合的に考えられることもなく、そしてそれを指摘できる専門家もいなかった結果ということになる。

このことは、現在の我が街

でも起こり得ることであり、実際に現在も数々の問題があることから、我々市民は自分の街のまちづくりについてもっと関心を持つ必要がある。しかも今の自分たちにとって良い街を望むだけでなく、将来この街を使っていく若い世代や子孫にとっても良い街でなければならぬ。

そのためには、これから我が街はどうあるべきかというまちづくりの全体最適解となるビジョンが必要であり、それに基づいて順序立てて戦略的にまちづくりを進めることが求められる。全国的に見ても、まちづくりが進んでいる都市は、その街の強みを活かし、ビジョンと戦略を持って取り組んでいる。我が街もそうなるべくして期待したい。

(完)

アマチュア無線技士養成課程講習会受講者募集中

ビジネスにイベントに・・・業務無線機レンタル中

取扱商品 パソコン・電子部品・各種通信機

パナソニック (株) 電技パーツ

青森市第二問屋町3-6-44
電話 017(739)5656 FAX 017(739)5895

—建設から暮らしまで—

カワヒロ 灯油・LPGのご用命は当社へ

(株)角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10
TEL017-762-3866

旅行や出張にうれしい宿泊パックのお申込みは

共和トラベル株式会社

青森市東造道二丁目3番14号
TEL 017(736)2266
FAX 017(736)5522

青森県知事登録第3-83号 総合旅行業務取扱管理者 成田浩二

ESSO Express DOUTOR

青森市第二問屋町4-10-26

エクスプレス問屋町SS
TEL 017-762-1676

ドールコーヒーショップエッソ問屋町店
TEL 017-729-1470

今年度の合同清掃が終了

10月8日(木)、今年度最後の問屋町合同清掃が行われ、問屋町、第二問屋町合わせて195名が参加した。

今年度の同活動への総参加者数は全7回で1,455名、1回当たりの平均参加者数は208名となり、どちらも過去最多記録を更新。参加企業数は114社を数え、雨天による延期も一度もなく今年度の全日程を終えた。

合同清掃では、回を重ねるごとにみづけるのが困難になるほどごみが減り、歩道脇や参加企業周辺の除草作業も合わせて実施。年々参加者数も増え、同活動により更なる景観向上が期待される。



合同清掃

青森県が荒川河川敷の雑木伐採

問屋町と第二問屋町の間に流れる荒川。近年、同川河川敷の雑木の繁茂により景観を損ねているのはもちろんのほか、アメリカシロヒトリなど



河川敷伐採前



河川敷伐採後

による害虫被害も問題となっていた。そこで組合では、今年8月に荒川を管理する東青地域県民局地域整備部に対策を要望した。

県でも雑木の伐採が水害対策(雑木が洪水時に流れの妨げとなるほか、流された樹木により堤防や護岸などの河川管理施設に損傷等を与える)にもつながることから、10月に雑木の伐採が実施された。伐採後の荒川河川敷は、すっきりとした景観を取り戻したほか、来年度以降の害虫対策にも大きな効果を発揮することが期待される。

団地企業訪問

「最高の仕事ができ幸せです」と笑顔で話すのは、今年8月に新規組合員となった株式会社エーアイサインの石澤社長。

同社は、昭和61年に屋外広告業として創業し、夫婦二人三脚でスタートした。現在社員は27名おり、青森県内全域で看板やイベント広告・カーマーケティングなどのデザインから製作・設置まで行っている。また、通常のサイン(看板)製作業務のほか、アート事業としてモニュメント・シンボルサイン・空間デザインなど、大型立体造形物の製作業務も行う。

「『サイン』は文字が無くても形や色で表現されており、その



(株)エーアイサイン 代表取締役 石澤 暁夫 氏

表現方法は多彩が増えていきます。その中でお客様の心地の良いもの、誰が見ても素敵だと思われるようなサインをデザインするよう心がけています。また、『サイン』は新しい建物に命を吹き込む役割があります。お店に看板がついたとき、モニュメントの除幕式など、記念すべきことに関わりを持ってるといえることはとても喜ばしいことです。私たちはサイン業に喜びと誇りを持ち、これからもお客様の繁栄、地域の豊かさに貢献できるよう邁進していきます」と語る。

業界の現状について伺うと「看板多く建設されたこともあり、看板製作作業のほとんどを占めました。

また、看板やモニュメントにも寿命があり、近年では安全面を考慮した点検作業が増えてきています。こういった作業にますます磨きをかけてつづいて、今後は問屋町に進出したということもあり、単品のオリジナルのネクタイやタオル、Tシャツなど、自分だけの付加価値のついた一品物の製作をやっています。問屋町の施設は広いスペースがあるので、新しい設備を取り入れ新しい事業を展開していきたいです」と力強い。

同氏の趣味等に話及ぶと、「絵を描くのがとても好きで、3、4年に1回くらいアート展を開いています。多くの方に見ていただき、

アートはいろいろな可能性があるということ、楽しさを感じていただければと思っています。浪岡本社の隣にはギャラリーとショップが一緒になったカフェがありますので、是非遊びにきてください。コーヒーの味は格別ですよ」と笑顔で話す。

好きな言葉について聞くと「『可能性に挑戦』という言葉が好きです。3年前に東京の渋谷センター街メイン通りの『バスケットボールストリート』誕生1周年を記念したモニュメントを製作することができました。駄目もともと挑戦すれば必ずチャンスがくる」と信じ、そのチャンスを掴むために挑戦し続けます。今の目標は「ニューヨークに目を輝かせている。(53歳)」

編集後記

十月の「国内経済視察会」は例年にも増して充実した内容の視察会でした。視察先の香川県は全国で一番小さな県なのですが、上場会社や十七社もある経済的に裾野のある豊かな県です。▼卸団地の地方創生策を検討中の当組合としては、その「香川県の産業力の強さの秘訣を学ぶ」ということが今回の視察テーマでした。▼その結果は期待通りでした。高齢者向けケアシニアズの徳武産業(株)は、靴業界の常識の真逆を取って選択。同分野で日本のトップとなりました。▼同社の十河会長に社員教育の要諦を聞くと、会長は間髪をいれず「挨拶」と「経営計画への社員全員参加」と答えられました。▼つぎの高松丸亀町商店街の古川理事長のプレゼンも刺激的でした。成功事例に学ぶのではなく失敗事例に学ぶ。「まちにお客を呼ぶのではなく、まちに住みたい人を増やす」「商店街への投資は地元・行政にも還元される」等。高松の経営コンサルタンの香川雅俊氏の講演「なぜ香川県に上場会社が多いのか」では次の指摘がありました。▼香川県の製造業は①生活関連型②加工組立型③基礎素材型とバラツキが良い。▼香川県にはニッチトップの会社が多い。シエア世界の会社4社。シエア日本の会社7社。▼香川県は千葉県に次いで「中小企業比率が高く生産性も高い」とのこと。▼香川県視察内容として「稼ぐまちが地方を変える」については次号に続きます(藤本)

おかげさまで30周年

株式会社 エーアイサイン

●デザイン ●かんぱん ●モニュメント ●シルクスクリーン

TEL 0172-62-5508 FAX 62-5516
〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢字西花園 82-1
URL <http://www.ai-sign.com>

問屋町事業部
TEL 017-729-8787 FAX 729-2099
〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目2-12

選べてうれしい新提案
玄関のリフォームなら

かんたん ドアリモ



長内サッシ工業株式会社
青森市問屋町2丁目12-35
TEL 017-(728)-1311



MADO ショップ
青森中央店